廿一日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人 福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日、休刊）

米檢、農會協力して 米生産檢査奬勵

品質を改善すれば 賣る米丈で廿五萬圓の利益

濱三郡に於ける農民、商人、地主連は米の生産といふ事に比較的無關心であるため品質粗惡で中央市場に於ける磐城米の價格は他地方のものに比べると安價で殊に石城郡の生産米は相馬、双葉のものより遙かに安値を見てゐる、石城郡内の水田は九千三百町歩、收穫は十六萬余石、價格にして五百萬圓であつて、この中地方で消費するものを除いて一ヶ年二十五萬俵だけ販賣し得る立場にあるけれども、石城の産米は相馬、双葉より一俵につき一圓の安値で、もし相、双同樣の米を生産すれば販賣する米價の差額だけでも二十五萬圓の利益があるといふ点に着眼した平穀物檢査所では郡農會と善後策を協議した結果、移出檢査のみでなく生産檢査を奬勵して品質改善を計る事になつた。

消防手に非常線を張られ 賊海中に飛込む

新舞子で巡査と格闘

十九日午後四時半頃石城郡草野村大字下神谷字尻塚大津武照方留守中に賊忍び込み金品を物色中家人が歸宅して發見大騷ぎをなしたので賊は逃走したが、部落の者が集り直ちに消防手が出動して要所に非常線を張つたので袋の鼠同樣逃げ道を絕たれた賊は新舞子海岸に逃走進退谷まつて海中に飛び込んだ處を根本駐在巡査も續いて飛び込み逮捕し四倉署に引致して取調べた結果同人は當時住所不定新潟縣刈羽郡高柳村字岡田生れ前科三犯柳幸次郎事牧野三次郎(二八)で目下余罪取調べ中である。

書記長辭任

金子氏

社會民衆黨磐城支部では十九日午後五時から第五回執行委員會を開き官吏減俸問題に關する反對の聲明書を發表した後、書記長金子政通氏辭任のため綿引司馬之助、石井英次郎、吉田芳枝三氏を責任常任委員に任命、縣聯合會には吉田芳枝氏出席する事に決定した。

▲四倉繭市場閉鎖

石城販賣利用組合四倉繭市場は十八日秋繭取引を終えたが開場以來の取引は二萬五千八十五貫六百三十匁でこの金額十五萬七千十三圓十三錢である、平均取引價格は最高八十圓、最低三十一圓、馴六十二圓六十錢であつた

▲錦品評授與式

石城郡錦村堆肥苗代麥二作各品評會褒賞授與式並に昭和三年度事業奬勵金交付式は廿一日午後一時から同村小學校に於て擧行する

理髪試驗 受驗者講習

石四倉警察署では二十一日午後六時から同署樓上で理髪試驗受驗者の講習を行ふ筈で講師は門馬倉次郎、松本四倉署長、猪狩理髪組合長の三氏である。

一夜に二軒を荒す

仲町の盜難事件で 平署非常線を張る

二十日午後十一時頃平町字仲町米穀商山野邊久利方雨戶を押し破つて賊忍び込み火箸を以て金庫を開けやうとしたが開かぬため傍にあつた現金十五圓入りの手提金庫を掻つ淺つて逃走しその足で隣りの遠藤綿店に押し入つたのを主人が發見したので同家では一物を得ず逃走した、報に接し平署では直ちに非常線を張つて犯人搜索中であるが未だに逮捕されないと。

東京、平間 直通電話線

廿一日から開通

平、東京間の電話は從來水戶中機であつたため通話に非常に不使を感じてゐたが今回東京、平間直通電話廻線を設置する事となり今二十一日から開通した。

政友・民政・社民 三ツ巴の暗闘

石城政界裏面の茶番事

（上）

東西！ 東西!!

石城郡の既成政黨の角突き合を見て居ると、こうした言葉が自然と叫びたくなる程に、茶番じみて居る。

民政黨が分裂するのは時の問題だと云はれて居るが、今その芽が露はれて來た。萩原義雄が平、好間間の客自動車の出願をして、若松美三が尻押して許可の運動をして居た

一方同區間は好間軌道と三井富吉が既に許可を得て運轉して居るが、大競爭の結果經營困難に陷つて居る、そこへ又萩原に許可されてはドチラもコチラも起ち行かんと云ふので、好間軌道と三井が妥協して縣に對し、好間軌道及三井以外の者に許可せざる事を條件として好間軌道は軌道を撤廢して無茶な競爭をせぬこととして縣に運動した、其の尻押をしたのが野崎滿藏だ。

こうなるとこゝに問題が出來た、野崎が、同志たる萩原の利權運動を防害するのは同志として甚だケシカランと云ふので野崎と萩原との間に感情の溝が出來た。こうなると政友會は得たり、賢しとして其の間の離反策を講じ初めたそれが振つて居る。

昨廿日の午前十時頃から、政友會の高橋龜松、馬目武之助と云つた連中が千葉彦治の處に會合して、野崎滿藏は東部電力から電燈値下問題を阻止する條件として金員の授受を行つたと云はれて居るから來る町會に於て、政友派から先づ電燈値下問題を提案して民政黨の萩原に賛成演說をせしめ、野崎が之に反對したなら政、民合同で野崎の失脚する迄に追擊し樣ではないかと相談をまとめ、昨日夕高橋龜松が萩原のもとへ內談に行つたとか、行かぬとか、と傳へられて居る。

ナント云つても政友會では野崎が苦が手だ、野崎を失脚せしめれば若松、萩原などは赤兒同然と見て居る、民政黨の內紛を極力利用し樣として居る。

一方萩原等は、野崎は不評判だから野崎が居ては民政黨は伸びないから野崎を追ひ出さうとして居る。

一方野崎は民政黨の今日あるは金子木南なき後ちは俺の力だと考へて居る、ヤレるならヤツて見ろと頑張つて居る

一方社民黨でも野崎の凡ゆる欠点を見付け出して野崎を攻擊し樣として居る、野崎が之に對し果して如何に切り拔けるか興味ある問題だ。

酒造家の若主人

飲食店から引上げらる

二十一日午前一時頃平町南町飲食店二葉家に登樓し十一圓分を飲酒遊興してイザ勘定となると二圓しか出さず、懷中には現金四百五十圓を所持してゐるので擧動不審として平署に密告したので平署から刑事出張登樓客を引致して取調べた處、同人は石城郡夏井村大字下大越酒造業鈴木武夫(三二)と言ひ同日取引先きの集金をなした上飲酒し南町を通りかゝり二圓の約束で登樓したものであつたと。

▲果樹品評入賞者

石城郡內郷村果樹品評會は十六日から同村小學校に開いたが、大山技師審査の結果左の如く入賞した。

▲一等半澤多助、萩音次郎▲二等草野雅一外三名▲三等萩定雄外五名▲四等久野文吉外十一名(以上梨)

▲一等草野末吉▲二等草野四五郎▲三等萩勝男外一名▲四等山崎重三外三名(以上柿)

比佐代議士 天盃披露

代議士比佐昌平氏は二十日午後一時から內郷村昭和館で御大典當時下賜された天盃披露を兼ね政談演說會を催ほした。

附近の反對で 出願徹回

鐵工所の計劃變更

平町堂ノ前吉田伴吉氏所有鐵工所は目下稻島某が經營してゐるが、同工場の動力は電氣であるため夜間並に公休日には作業を休まねばならぬためガソリン發動機に變更するやう平署に願書を提出したが、今日でさい音響が甚だしいのを夜間まで作業をやられては困るといふ附近住民の反對で願書を取り下げた。

▲渡邊氏逝く

相馬郡原町渡邊禮五郎氏は家てから病氣療養中の處十九日長逝した、葬儀は廿二日午後一時同町新祥寺に於て佛式により行ふ筈である

驚いた!!!

こうまで安いとは

平・加納活版所の印刷物

清野女史 全國大會出席

平町南町清野きよ子女史は福島縣產婆會を代表して大阪市に開かるゝ全國產婆大會に出席のため二十一日午後一時二十分平驛發列車で出發した。

縊死者の身元判明

去る十八日石城郡磐崎村大字下湯長谷字古舘地内で縊死を遂げた年齢二十七八歳前後勞働者風の男の身元は其後平署で調査の結果同人は茨城縣西茨城郡北川根村幸之助二男赤津孝八（二三）と判明廿一日家族の者が磐崎村に來り死体を引取つたが、同人は縊死を遂げた前日綴局の消印ある書面で實兄赤津國衛に宛て私孝八は家の安全を計るため他縣でこの世を去ります、兩親を大切にするやう願ひますといふ遺書を送つたので調査の結果身元が判明したものである同人は現役兵に召集されたため職を離れ入營後軍人として成功する覺悟でゐた處腦膜炎のため昨年十二月疾兵除隊となりその後石城地方各炭礦を廻つて職を探したが見當らず悲觀して自殺したものである。

三人殺しを逮捕するまで

小田部警部（寄）

（十五）

▲紺野義見の陳情

紺野義見は七月二十日自宅出發後大槻已之助と二人連れにて千萬吉方に至り、同夜及二十一日二回賭博を爲し、二十二日大槻已之助は歸り同人のみ滯在し、二十三日夜も賭博を爲し、金十一圓勝ちたるも胴元と金の收支關係に於て千萬吉に金十二圓五十錢貸となり之が支拂を受くべく二十四日夕方迄待居りたり、然るに千萬吉は正午近くに黒沼義廣が木炭運搬の爲め山に來る筈に就き、貸金を取つて來ると稱し、小屋を立出て約二時間過ぎで立歸り、黒沼に會つたが、都合が惡いと云ふに付今少し待つて呉れと云はれたるも、自分も金を持たねば家に歸れないから、何んとかして貰ひたいと話して居る内に、金もないのに賭博などするからと千萬吉夫婦は喧嘩を始めたる爲め自分は仲裁を爲し、食料として金五拾錢銀貨二枚を爐場横座の莚の上に置き午後七時近くに小屋を出發し、大瀧の不動尊の前を通つて同日午後八時半頃中野村字大瀧佐藤金右衛門、紺野義見の出生地なるを以て親密の間柄なり）方に至り宿泊し、當夜は佐藤キン外二名を勸誘して賭博を爲し義見は二十五錢位の勝を得たり、翌二十五日は同字須田長藏（本人の實兄）に一泊し翌二十六日は笹谷村の姉の許に一泊し、二十七日午後十一時頃自宅に歸りたるものにして、自分の立去りたる後に於て夫婦喧嘩をするか又は誰れにか殺されるかしたるならんとの申立てなり。

内科　小兒科
花柳病科
藤沼醫院（入院應需）
平町紺屋町
電話平四五〇七番

安全第一
諸債券、公債類の御用は是非迅速簡易を
モットーとする弊店を精々御利用下さい
營業課目
勸業債券　兩替
復興債券　金融
公債其他　多田井商店
一般取扱　平町大工町

賣地
商店向宅地　賣地
好間村大字上好間字忽滑
六十一ノ一
間口十一間半奥行八間
九十二坪
一、縣道に沿ひ好間郵便局眞西隣
一、好間尋常高等小學校に近し
一、古河鑛業株式會社好間竪坑前好間軌道停留所隣に位し、古河會社は目下數百萬圓を投じ新斜坑開鑿中、近く着炭すれば人夫入込多く大々有望地
平紺屋町
地主　牛久

鰻蒲燒　魚榮
平町南町平舘隣り
電話四二四番

痔の高級內服藥
「ダイサン錠」
平五　山野邊藥局

內臟外科專
骨關節外科　藤本順
整形外科門
產婦人科　木村寅次郎
外科
產婦人科　木村病院
平町新川町（電話一六四）

牛豚肉廉賣
秋——みのる秋!!肥ゆる秋!!!
愈々食肉のシーズンは來る
精力と体力の增進を計るは今!!!
牛　中肉　百匁　金二十五錢
同　上肉　同　金四十五錢
同　ロース　同　金六十錢
同　ヒレ　同　金八十錢
豚　中肉　百匁　金二十五錢
同　上肉　同　金四十錢
同　ロース　同　金五十錢
同　ヒレ　同　金六十錢
深谷牛豚肉店
平驛前（元平劇場入口）
電話五二四番

耳鼻咽喉科專門
新築移轉
場所　平町仲田町七一
合津醫院
電話五九五番

萬病の靈藥
故長井博士の推奨せる
別府鑛泉　定價一圓也
地方一手販賣　平町五丁目角　山野邊藥局

果然!!
靴業界の大塚製品の誇り
特殊な製法と最新の形
大英斷の値下げ斷行!!!
ボックス革　自製半靴　七・〇〇ヨリ
同　同　編上靴　九・〇〇ヨリ
赤革　同　半靴　八・五〇ヨリ
同　同　編上靴　一〇・〇〇ヨリ
品と値は他店の追從を許さず
平町田町　電話七〇二番　大塚支店製靴部

平看護婦會
會長　清野キヨ
平町字南町【電話三〇七番】
看護婦派出の需めに應じます

父禮五郎儀病氣の處藥石効なく十九日死去仕り候に付此段御通知申上候

尚來る二十二日午後一時當町新祥寺に於て告別式を相營み本葬は十一月六日鄉里福島縣石城郡勿來町九面の自宅にて執行仕る可く候

昭和四年十月二十一日

福島縣相馬郡原町

男　工學博士　渡邊彌太郎
男　渡邊惠弘
親　藤野正年
戚　佐川イネ子
總醫學博士　内野隆介
代　赤津誠
渡邊九内
渡邊正春